

## 令和2年度 第10回「御手洗地区 まちづくり会議」概要

日 時：令和2年8月6日（木） 19：30～20：30

場 所：御手洗公民館

参加団体等：振興協議会、御手洗喜米会、壮年会、運営審議委員、交通安全協会御手洗支部、社会福祉協議会、体育協会、防犯協会御手洗支部、町内会、公民館長、白山市町会連合会理事 など

### 発言【1】

新しい地域コミュニティ組織と公民館のあり方について

- ① 市民協働で創るまちづくりの進捗状況は
- ② 公民館との関わりは
- ③ 公民館のコミュニティセンター化の市長の方針は

### 【市】

白山市市民協働で創るまちづくりあり方方針（素案）について、昨年度は指針策定委員会を4回開催いたしました。

- ① 本市が目指す地域コミュニティの将来像、具体像及び推進方策等のあり方方針（素案）について検討し、中間とりまとめを行いました。

令和2年度は、地域コミュニティ組織のモデル地区において、組織の設立準備及び試行的な運営・活動を検証して、あり方方針（素案）の見直しを行います。

- ② 地区公民館は、それぞれの課題を踏まえながら社会教育として取り組まれていることに加えて、多様な方々に関わってもらえるような地域コミュニティ組織の活動拠点となることを想定しています。

これまで社会教育として公民館がしてきたことは、新しい地域コミュニティ組織に必要だと考えております。

- ③ 地域づくりで重要なことは、地域課題の解決や地域資源の活用について話し合い、地域の実情や特性に応じて実行することです。このようなことをしたいから、公民館がコミュニティセンターになることが望ましいということではなりません。行政も関わって地域として地域が一つになるような形で進めてまいりたいと考えております。

### 発言【2】

子どもたちの科学・技術の支援について

**【市】**

令和元年度より先進校として白嶺小学校にロボット教材等を入れ、活用しております。

令和 2 年度からは、小学校低学年音楽科ではリズムづくりについて、中学校社会科では方位と地図記号について、高学年算数科では正多角形について、それぞれプログラミングの授業を行っております。

ロボットの動きの組み合わせと対応する記号により意図した活動を行うためのプログラミング的思考を育成することを重視して取り組んでおります。

また、各校に月 2 回程度 ICT サポーターを派遣し、中学校の技術科ではプログラミングの教育教材（制御学習プロロボ）を使った授業サポートや、7つの LED 時計を使って数字を表す授業サポートを実施しております。

**発言【3】**

まっとう車遊館の募集状況や進捗状況は？

**【市】**

白山ゲートウェイとくみつ Taanto(タント)という名称で順次開業していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で少し遅れているようです。

地元の特産品などを扱う物産館、北陸初出店のうどん店、カフェ、コンビニエンスストアなど 6 店舗が出店予定とのこと。

一般道からの利用もできますので、高速道路を利用する人だけではなく、地元の皆さんをはじめ多くの人に利用していただきたいと思っています。

**発言【4】**

(1)めぐーの乗車率について

(2)ワゴン販売（買い物弱者対策）の提案について

**【市】**

(1)令和元年度の実績では、市全体で 1 便あたり 4.7 人、松任地域では 1 便あたり 7.3 人の乗車となっております。

白山市高齢者運転免許自主返納支援事業の中でめぐーの回数券の取り扱いをしております。また、高齢者の外出支援として、満 75 歳以上の市民の方は、交通対策課などにて無料乗車券の交付受付をしておりますのでご活用ください。

(2)市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「地域コミュニティ組織」の創設を進めております。

地域の課題として、例えば、免許証を返納された高齢者の交通手段について地域で話し合い、公共交通が充実していない地域の運送事業に取り組むことも考えられます。

また、スーパーが行っている移動販売車や宅配サービス、買い物代行サービスなど、民間事業者が行っている各種サービスを利用いただくこともできます。

#### 発言【5】

市道の補修（東相川の入り口）について

##### 【市】

ご指摘の箇所につきましては、9月に補修済です。

#### 発言【6】

御手洗地区から蕪城・相木方面へ行く途中にある五差路に整備するロータリーについて

##### 【市】

警察によると、ラウンドアバウトという方法が信号機を設置するより安全ということで採用いたしました。交通事故防止のため、白山警察署など関係機関と協議を行い交差点の効果的な周知方法を検討してまいります。

#### 発言【7】

(1)まちづくり会議の意見に対する実績の金額（127件・55億7千万円）について

(2)まちづくり会議でよく出る意見について

(3)コロナ禍ではあるが、シークレットの花火を上げてはどうか

##### 【市】

(1)まちづくり会議でのご提案・ご意見に対しまして、翌年度に関係する事業として予算化を行った件数・金額です。

(2)開催する年によって違いますが、よくいただくご提案・ご意見として、市民協働で創るまちづくり、通学路を含む道路関係の整備、災害対策関係、高齢者の移動手段の確保、子育て環境の整備などが挙げられます。

必要なことはなるべく施策に反映させたいと考えており、今後も「対話と参加」の市政を継続し、地域の声を大切にしていまいります。

(3)感染予防の対策は必要ですが、一方では経済を回復する必要もあります。

シークレット花火の打ち上げは、こういった気持ちも盛り上げていかなければならないとの表れだと思います。

花火のようなイベントは感染の状況により慎重に開催を検討する必要があり、未だ終息具合が見えない状況でもありますので、現在のところ実施は困難と考えております。